

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健

1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	時配 数当
1 学 期	①オリエンテーション ②健康の考え方 【知識及び技能】 ・国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組む態度を養う。	①オリエンテーション 欠時や単位数、考査の回数等について理解させる。 授業のルールを理解させる。 ②健康の考え方 ・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた	②健康の考え方 【知識及び技能】 ・国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	生活習慣病などの予防と回復 【知識及び技能】 ・健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組む態度を養う。	生活習慣病などの予防と回復 ・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復 ・運動と健康 ・食事と健康 ・休養、睡眠と健康	生活習慣病などの予防と回復 【知識及び技能】 ・健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 【知識及び技能】 ・喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康	喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 【知識及び技能】 ・喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	○	○	○	7

	則や概念に着目して解決の方法を 思考し判断しているとともに、 それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代社会と健康についての学習 に主体的に取り組む態度を養う。		もに、それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代社会と健康についての学習に主体的 に取り組もうとしている。				
	精神疾患の予防と回復 【知識及び技能】 ・精神疾患の予防と回復には、運動、食 事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実 践するとともに、心身の不調に気付くことが 重要であること。また、疾病の早期発見 及び社会的な対策が必要であることを理解 する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・現代社会と健康について、課題 を発見し、健康や安全に関する原則や概念 に着目して解決の方法を思考し判断してい るとともに、それらを表現することができ る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代社会と健康についての学習 に主体的に取り組む態度を養う。	精神疾患の予防と回復 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防 ・精神疾患からの回復	精神疾患の予防と回復 【知識及び技能】 ・精神疾患の予防と回復には、運動、食 事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実 践するとともに、心身の不調に気付くこと が重要であること。また、疾病の早期発見 及び社会的な対策が必要であることを理解 している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・現代社会と健康について、課題を発見 し、健康や安全に関する原則や概念に着目 して解決の方法を思考し判断しているとし て、それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代社会と健康についての学習に主体的 に取り組もうとしている。	○	○	○	4
2 学 期	現代の感染症とその予防 【知識及び技能】 ・感染症の発生や流行には、時代 や地域によって違いがみられること。その 予防には、個人の取組及び社会的な対策 を行う必要があることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・現代社会と健康について、課題 を発見し、健康や安全に関する原則や概念 に着目して解決の方法を思考し判断してい るとともに、それらを表現することができ る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代社会と健康についての学習 に主体的に取り組む態度を養う。	現代の感染症とその予防 ・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症、エイズとその予防 ・健康に関する意思決定、行動 選択 ・健康に関する環境づくり	現代の感染症とその予防 【知識及び技能】 ・感染症の発生や流行には、時代や地域に よって違いがみられること。その予防に は、個人の取組及び社会的な対策を行う必 要があることを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・現代社会と健康について、課題を発見 し、健康や安全に関する原則や概念に着目 して解決の方法を思考し判断しているとし て、それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代社会と健康についての学習に主体的 に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	①安全な社会づくり 【知識及び技能】 ・安全な社会づくりに、環境の 整備とそれに合った個人の取組が 必要であること。また、交通事故 を防止するには、車両の特性の理 解、安全な運転や歩行など適切な 行動、自他の生命を尊重する態 度、交通環境の整備が関すること。 交通事故には補償をはじめとし た責任が生じることを理解す る。 【思考力・判断力・表現力等】 ・安全な社会生活について、安全 に関する原則や概念に着目して危 険の予測やその回避の方法を考 えているとともに、それらを表 現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・安全な社会生活についての学習 に主体的に取り組む態度を養う。 ②応急手当 【知識及び技能】 ・適切な応急手当は、傷害や疾病 の悪化を軽減できること。応急手 当には、正しい手順や方法がある こと。また、応急手当は、傷害 や疾病によって身体が時間の経過 とともに損なわれていく場合があ ることから、速やかに行う必要があ	①安全な社会づくり ・事故の現状と発生要因 ・安全な社会の形成 ・交通における安全 ②応急手当 ・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法	①安全な社会づくり 【知識及び技能】 ・安全な社会づくりに、環境の整備とそ れに合った個人の取組が必要であること。 また、交通事故を防止するには、車両の特 性の理解、安全な運転や歩行など適切な行 動、自他の生命を尊重する態度、交通環境 の整備が関すること。交通事故には補償を はじめとした責任が生じることを理解して いる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・安全な社会生活について、安全に関する 原則や概念に着目して危険の予測やその回 避の方法を考えているとともに、それらを 表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・安全な社会生活についての学習に主体的 に取り組もうとしている。 ②応急手当 【知識及び技能】 ・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を 軽減できること。応急手当には、正しい手 順や方法があること。また、応急手当は、 傷害や疾病によって身体が時間の経過とし て損なわれていく場合があることから、 速やかに行う必要があることを理解してい るとともに、心肺蘇生法などの応急手当を 適切に行う技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・安全な社会生活について、安全に関する	○	○	○	5

3 学 期	ることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組む態度を養う。		原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。				
	年間のまとめ、振り返り	安全な社会生活についての振り返り					3
							合計
							32